

ジュニア災害リーダー(JDL)との 区政に関する意見交換会について(報告)



生野区の花
あじさい

令和 8 年 1 月 27 日
生野区役所企画総務課



生野区マスコットキャラクター
いくみん

開催趣旨

令和 5 年度生野区区政会議で、委員から“出前区政会議”のような形でいろいろな人が区政に参加できる場、特に若い世代の方々の意見を聞く場が少なく感じるので、彼らと対話をして事業に反映していく取組をしてはどうかとの提案がありました。

生野区としても、これからの未来を担う若い世代の方々に、区政への関心をもっていただくこと、また、若い世代の方々の自由かつ柔軟な発想や意見を聴収し、行政として理解を深め、施策・事業展開を検討していくことは重要であると考え、区政会議の関連イベントとして、若い世代を対象とした「区政に関する意見交換会」を令和 6 年度から実施しています。

今回は、未来を担う若い世代の方々に、災害に対する更なる意識をもってもらうため、生野区内でジュニア災害リーダー（JDL）として活動している生徒を対象に開催しました。

内容

【日 時】令和 7 年 8 月 19 日（火） 10 時 30 分～※ 1 時間半程度

【場 所】生野区役所 5 階 503 会議室

【参加者】J D L : 2 名（中学 3 年生、高校 2 年生）
生野区役所：区長、安心まちづくり担当課長
ファシリテーター：川中 大輔 氏



JDLから寄せられた声

(JDLで活動する理由について)

- ・母がこども見守り隊をしており、自分も人の役に立つような活動をしたいと思ったから。
- ・生野区で生まれ育ち、生野愛があり、地元に関わることがしたいと思ったから。
- ・JDLとして、防災に関係する地域のイベントに参加しているが、周りからそのようなイベントに誘ってもらえることや、防災に関する知識が得られることが魅力だと思うから。

(JDLでどのような経験や学び方を望むか)

- ・AEDの使い方、応急措置の方法、消火器の使い方などを座学でなく、実践形式で学びたい。
- ・消防や自衛隊隊員が被災地へ派遣された際のスキルなどを聞きたい。

JDLから寄せられた声

(JDLを継続していくにはどうすればよいか)

- ・学生のスケジュール（受験等）を考慮した活動スケジュールが必要

(JDLの参加者を増やしていくのはどうすればよいか)

- ・JDLが結束することが必要。JDL同士が話をする機会を増やし、結束して活動実績を増やせば、活動内容が広まり、加入者も増えると思う。
- ・JDL加入の勧誘の際、JDLがどんなことをやっているか、活動内容がわかるように、もっと知ってもらうことが必要。
- ・もっと高校生が増えてほしい。JDLの活動を周知する工夫が必要。

(その他)

- ・イベントなどで防災に関するブースなどをJDLとして出展したい。

JDLから寄せられた声をうけてこれまでに実施したこと

声

JDLが結束することが必要。

JDL同士が話をする機会を増やし、結束して活動実績を増やせば、活動内容が広まり、加入者も増えると思う。

➡ 2025年10月5日(日) JDL研修実施

①アイスブレイク（自己紹介）

「実は〇〇なんです」 百人一首が得意、サッカー部キャプテン、あんこ好き など

②防災工作（防災頭巾）

JDL考案の帽子付き衣類にタオルを縫い付け防災頭巾を作成。



JDLから寄せられた声をうけてこれまでに実施したこと

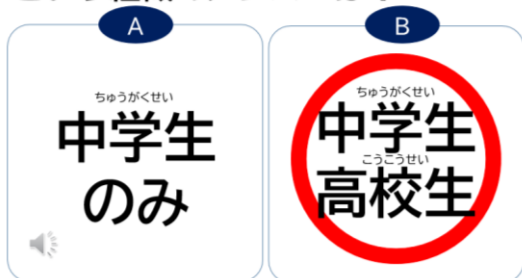
声

イベントなどで防災に関するブースなどをJDLとして出展したい。

➡ 2025年12月13日(土) 防災フェスタへ参加

①防災講演にて活動紹介

生野区ジュニア災害リーダー(JDL)
という組織のメンバーは？



②ブース出展 ペットボトルで水道ロープ結索 (もやい結び・引き解け結び)



